

令和8年度 古典文学セミナー

万葉集

こののはの森をゆく

参加無料
事前申込不要

令和8年
6月27日(土)
13時30分～16時

第二部
対談

老いも若きも万葉衆
本学学生、万葉愛好者の皆さん

第一部
講演

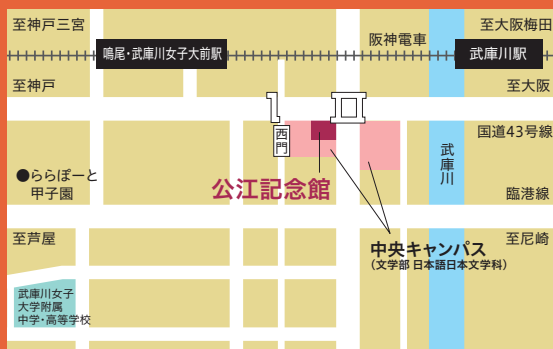
やめば継がるる恋
― 赤人と家持 ―
日本語日本文学科教授 影山尚之

会場

武庫川女子大学中央キャンパス
公江記念館地下1階
KM-B109教室

若くして越中守を拝命した大伴家持は天平18年(746)7月に現地へ到着、ところが翌年2月に「枉疾(重い病)」に沈み「泉路(黄泉に赴く道)」を覚悟するほどでした。そのとき下僚大伴池主と交わした書簡に、有名な一節「幼年に山柿の門に逕(いた)らず、裁歌の趣(おもむき)詞を聚林に失ふ」があらわれます。憧憬の先人を称している「山柿の門」が具体的に誰を指すのかは諸説不定ながら、今回は山部赤人と柿本人麻呂を想定してみます。赤人の歌を貫流する思慕の情に、家持は深く共感したのでしょうか。

第二部は万葉集を愛好する方々と世代を超えて語り合うひとときです。



会場へは西門のご利用が便利です

武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

2027年4月、共学化、名称変更予定。



武庫川大学
MUKOGAWA UNIVERSITY

主催 武庫川女子大学文学部日本語日本文学科

共催 武庫川女子大学国文学会

【学科HP】 <https://jll.mukogawa-u.ac.jp/>

【お問合せ先】 武庫川女子大学日本語日本文学科準備室
TEL(0798)45-9702 FAX(0798)45-3555
mknichi@mukogawa-u.ac.jp

学科HPは
こちら

